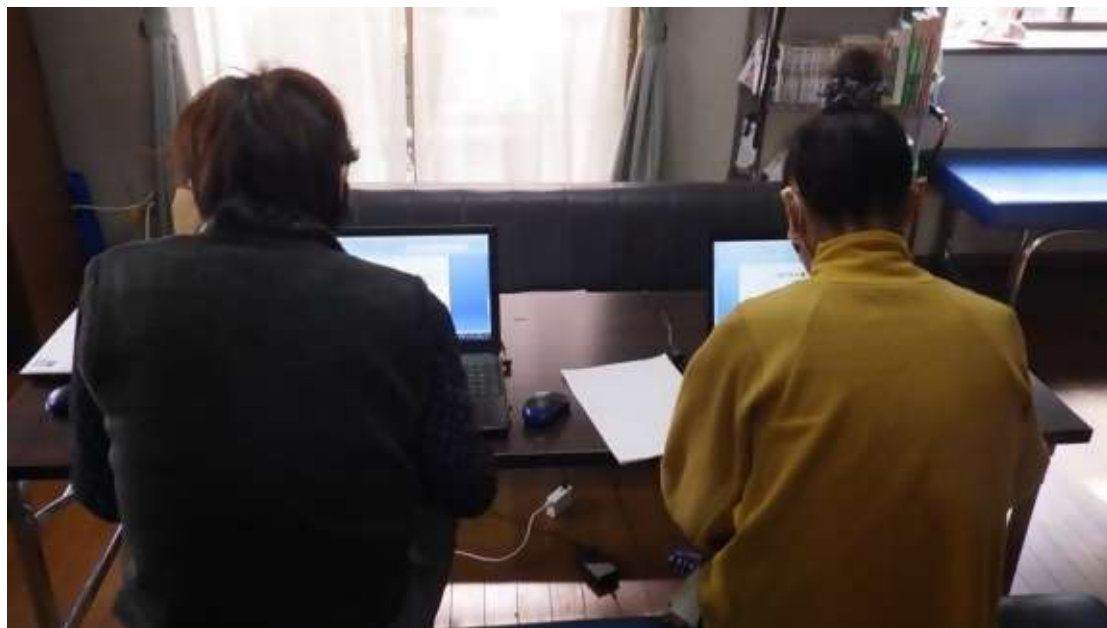


## 特定非営利活動法人メビウス千葉



**【活動分野】** 保険・医療・福祉、職業能力開発・雇用機会拡充

**【団体 PR】** 近年では、違法ドラッグやアルコールなどの使用障害、本人も望んではいない摂食障害、窃盗、万引き、盗撮、ストーカーなどの反復行為なども、状況によっては「病気」の状態にあり、医療によるアプローチが必須出るとの認識が広がってきているようです。しかし一方で、それらの病気は決して完治することではなく、一生悩みつづけ、生活の多くを犠牲にし、自分自身だけでなく他者も傷つけながら戦い続けなくてはならない「難病」であると思込んでいる当事者やご家族が多いのも現状です。私たちが標準治療としている条件反射制御法とは、2006年に下総精神医療センター（国立病院機構）にて平井慎二医師により発見された最先端の治療技術であり、上記のようなあらゆる問題行動に対して劇的な効果をもたらし、克服を至らしめる、特効治療法です。ただし、この治療によって病気の状態からは完全に脱したとしても、対象の物質や行動、行為を完全に「やめる」には、併発している他の病気への対処、生活環境や対人関係、就労状況の見直しや、人によっては「生き方」そのもの全てを改善する必要がありますし、むしろその以後の方が重要かもしれません。私たちは病気そのものを「治す」ことよりも、そちらを「立て直す」ことのほうがよほど難しいということを知っています。まずは病気そのものの正体を知り、しっかりと治してから。また、刑事処分が科される者は、その「治療」が考慮された適切な処分を求めること。生活の基盤そのものを失ってしまった者は、これまでの問題を一人で

抱え込まず、必要となる社会的援助や保護を公正堂々と頼ってみる。そしてなにより、自分ひとりの判断を過信せず、専門家のアドバイスを受けながら時間を掛けて段階を踏ませる。それらのためのあらゆるサポートがメビウス千葉には用意されています。当事者に必要なのは、「もう、やめよう」という決断と、戦うべき病気の正体を正確に把握すること。加えて、長く続く人生のほんのひと時、少しだけ立ち止まり、私たちが寄り添って一緒に悩み考えてあげることなのです。最後に、その活動への御理解と、その活動継続のための皆様のご寄付を切にお願いいたします。何卒、よろしくお願いいたします。